

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 平成24年 6月 11日 愛知県知事 大村 秀章 殿 提出者 住 所 愛知県半田市川崎町1丁目1番地 氏 名 JFEシビル(株) 知多事業所 事業所長 行部 充男 電話番号 0569-24-2050 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	JFEシビル(株) 鉄鋼土建事業部 知多事業所
事業場の所在地	〒475-0832 愛知県半田市川崎町1丁目1番地
計画期間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	5.0億円
③従業員数	9名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生(各工事現場)→収集運搬業者に委託し、委託中間処理業者に運搬→中間処理業者にて処理 1) がれき類は中間処理業者にて再資源化 2) ガラス・陶磁器くず・石膏ボード類は再生処理業者に委託し再資源化し、一部は最終処分(埋め立て処分) 3) 廃プラスチックは再生処理業者に委託し再資源化し、一部は最終処分(埋め立て処分)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（ H23年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t
	（これまでに実施した取組） 新たに構築する基礎や、アスファルト道路に関して、なるべく壊す範囲を少なくする等、検討を行ない、路盤材やアスファルトは再生品を使用するよう心がけた。又現場では分別処理を行い、産廃のリサイクル率を上げるように心がけた。	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t
	（今後実施する予定の取組） 前年度に引き続き、解体する箇所の検討を行ない産廃の排出量を抑える。又、産廃のリサイクル製品を積極的に使用してゆく。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別処理を励行するため、現場での産廃表示を明確にし、作業員の環境教育を実施している。	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別処理を推進するため、前年と同様に活動を行なう。また、混廃用のコンテナの設置を出来るだけ避け分別処理を行なう。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者の許可書等の確認及び、年一回程度の委託先調査の実施を行い、リサイクル率の高い中間処理業者を選定し、処理委託をしている。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
委託業者の許可書等の確認及び、年一回程度の委託先調査の実施。 また、可能な限り優良認定処理業者を選定する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

①現状

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず・石膏ボード類	金属くず
排出量	2,301.8t	40.0t	10.7t

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
排出量	34.8t	454.8t	5.3t

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有廃棄物（陶磁器くず）	（特管）廃石綿等
排出量	1.8t	6.0t	0.9t

②計画

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず・石膏ボード類	金属くず
排出量	1,000.0t	20.0t	10.0t

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
排出量	20.0t	200.0t	0.5t

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有廃棄物（陶磁器くず）	（特管）廃石綿等
排出量	1.0t	0t	0t

別紙(第4面関係)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず・石膏ボード類	金属くず
全処理委託量	2,301.8 t	40.0 t	10.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	2,301.8 t	40.0 t	10.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
全処理委託量	34.8 t	454.8 t	5.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	34.8 t	454.8 t	5.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(陶磁器くず)	(特管) 廃石綿等
全処理委託量	1.8 t	6.0 t	0.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	1.8 t	6.0 t	0.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず・石膏ボード類	金属くず
全処理委託量	1,000.0 t	20.0 t	10.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	_____	_____	_____
再生利用業者への処理委託量	1,000.0 t	20.0 t	10.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	_____	_____	_____
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____	_____	_____

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
全処理委託量	20.0 t	200.0 t	0.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	_____	_____	_____
再生利用業者への処理委託量	20.0 t	200.0 t	0.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	_____	_____	_____
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____	_____	_____

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	石綿含有廃棄物(陶磁器くず)	(特管) 廃石綿等
全処理委託量	1.0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	_____	_____	_____
再生利用業者への処理委託量	1.0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	_____	_____	_____
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____	_____	_____